

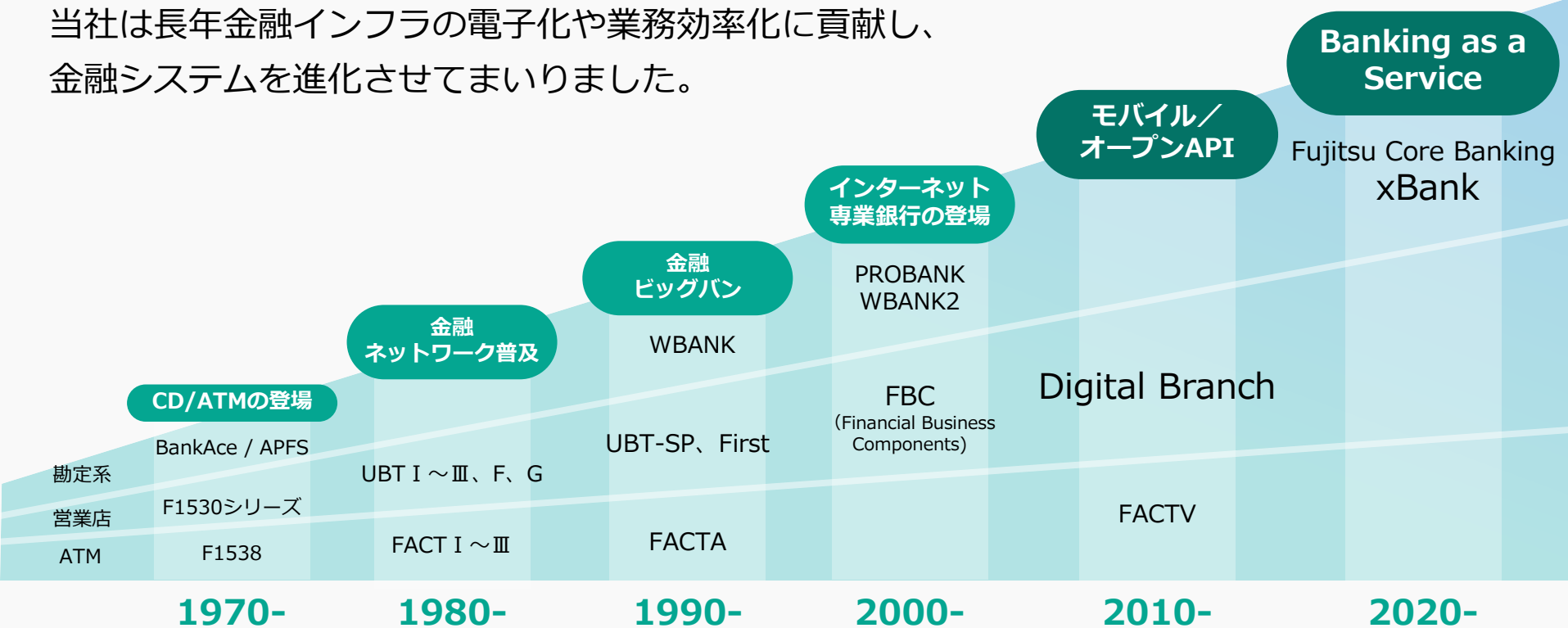
金融サービスの未来を切り拓く ～富士通の戦略的アプローチ～

2025年6月3日
富士通株式会社
執行役員常務
八木 勝



当社金融システムの歴史

当社は長年金融インフラの電子化や業務効率化に貢献し、金融システムを進化させてまいりました。



金融を取り巻く 社会環境の変化

経済産業の持続的な成長には
依然として不確実性が伴います。

経済の中核を担う金融機関こそがDXを推進し、
自らの競争力を維持・向上させていく
必要性が高まっています。

金利の
ある世界

新たな
決済

地域格差
拡大

異業種
参入

労働力
不足

AI
クラウド
普及

物価
上昇

イノベーションで金融の未来を拓く、富士通の挑戦

Fujitsu
uvance



金融の未来

見えない安心が、
誰にでも届く社会へ

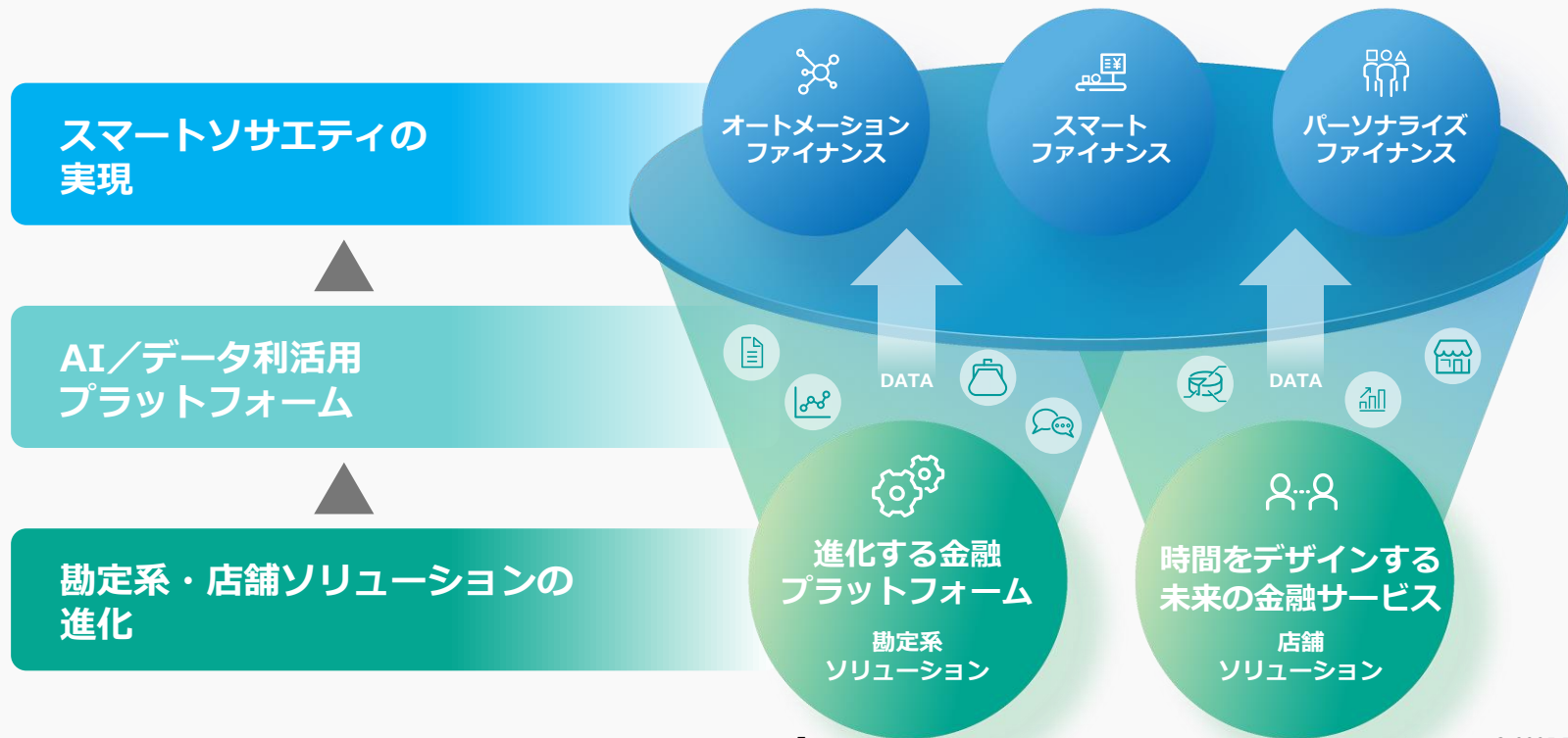
×

富士通の挑戦

デジタルを駆使した
イノベーションの実現

富士通が目指す未来の金融サービス

信頼性の高い勘定系・店舗ソリューションを継続的に進化させるとともに、そこから得られるデータを活用することで、人々の生活を豊かにするスマートソサエティの実現を目指します



勘定系ソリューション 「Fujitsu Core Banking xBank」

2025年5月7日
富士通株式会社

富士通のソリューションを採用したソニー銀行様の新勘定系システムが稼働開始

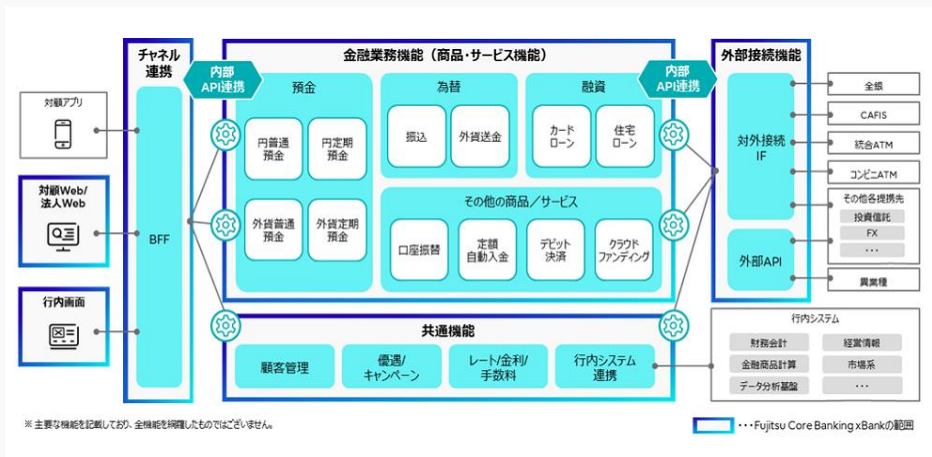
クラウドネイティブな次世代デジタルバンキングシステムによりビジネスアジリティを最大化

当社の勘定系ソリューション「Fujitsu Core Banking xBank（クロスバンク）」^(注1)（以下、本ソリューション）を採用した、ソニー銀行株式会社^(注2)（以下、ソニー銀行）様の新勘定系システム（以下、次世代デジタルバンキングシステム）が、2025年5月6日から稼働を開始しました。次世代デジタルバンキングシステムは、ソニー銀行様のさまざまな商品・サービス、取引機能をマイクロサービス化して実装しており、新商品・サービスの迅速な提供や、既存機能の柔軟な改良など、ビジネスアジリティの強化を実現しています。

近年、金融業界ではデジタル化の加速による顧客ニーズの多様化と競争激化が顕著となっています。特にデジタル型の金融サービスでは利便性やスピード感が顧客満足度を大きく左右し、競争優位性を確保するためには経営戦略とIT戦略を一体で考えることがますます重要になっています。そのなかで、銀行システムの中核を担う勘定系システムは、経営戦略やビジネス要件の多様な変化に柔軟かつ俊敏に対応可能なシステムアーキテクチャであることが肝要です。

ソニー銀行様は、ビジネスアジリティの最大化を目指し、開発生産性の向上や業務効率化の推進、データ基盤の整備を実現するために、勘定系システムを従来のシステムから完全に刷新しました。これによりアライアンス推進を柔軟にし、顧客利便性の向上および、より安価かつタイムリーな商品・サービスの提供が可能となります。なお、今回の移行により先行してクラウド化を進めてきた周辺システムとあわせて、勘定系を含めたほぼすべてのシステムのクラウド化が実現しました。

出典： <https://pr.fujitsu.com/jp/news/2025/05/7.html>



ソニー銀行

「Fujitsu Core Banking xBank」 (クロスバンク)

を採用したソニー銀行様の新勘定系システムが
2025年5月6日稼働

勘定系ソリューション 「Fujitsu Core Banking xBank」

これからの金融サービスを支えるために当社が開発した新たな勘定系ソリューション

「xBank（クロスバンク）」に込めた思い

これからの金融サービスの広がりを支えていくために
様々な業種やサービスと組み合わせたり連携しやすい
ソリューションとなるよう命名

命名の由来

- ✓ 内部・外部のAPIを掛け合わせ金融サービスを実現
- ✓ 機能を組み合わせ活用、一部機能のみ活用

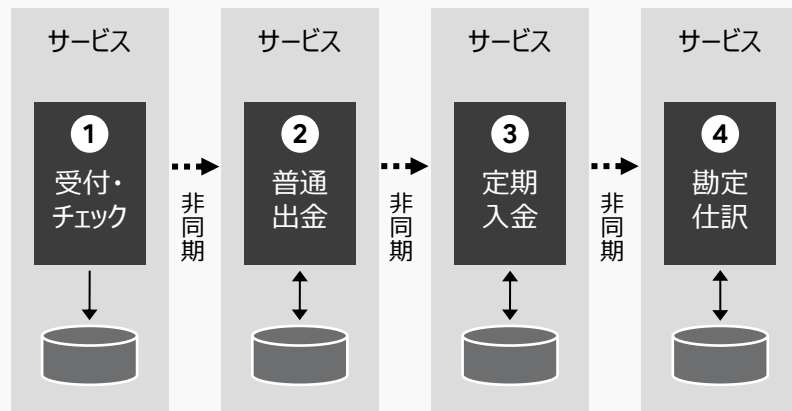


勘定系ソリューション ～特長1 軽量な勘定系アプリケーション～

Fujitsu Core Banking xBankでは、マイクロサービスアーキテクチャを採用し、ITレジリエンスを強化しました。これまでの銀行勘定系システムに比べ、約60%資産規模を削減し、軽量化を実現しています。

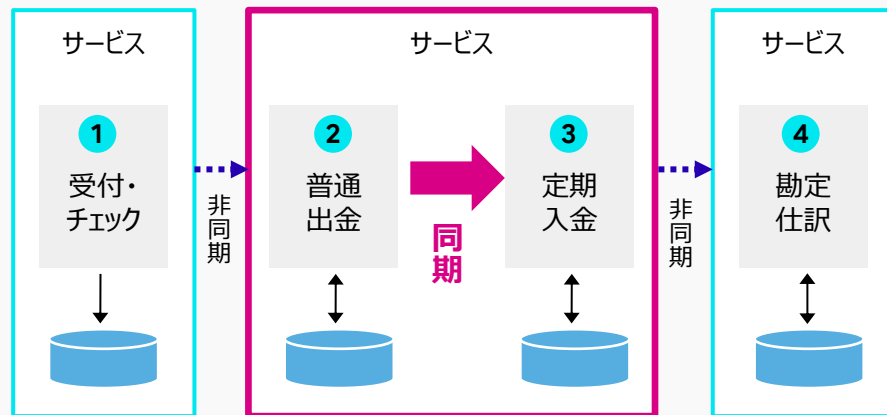
一般的なMSAの概念を採用した場合

定期預金購入の例 …



マイクロサービスアーキテクチャのメリットを活かしつつ、データ整合性の担保、トランザクションの保証を実現

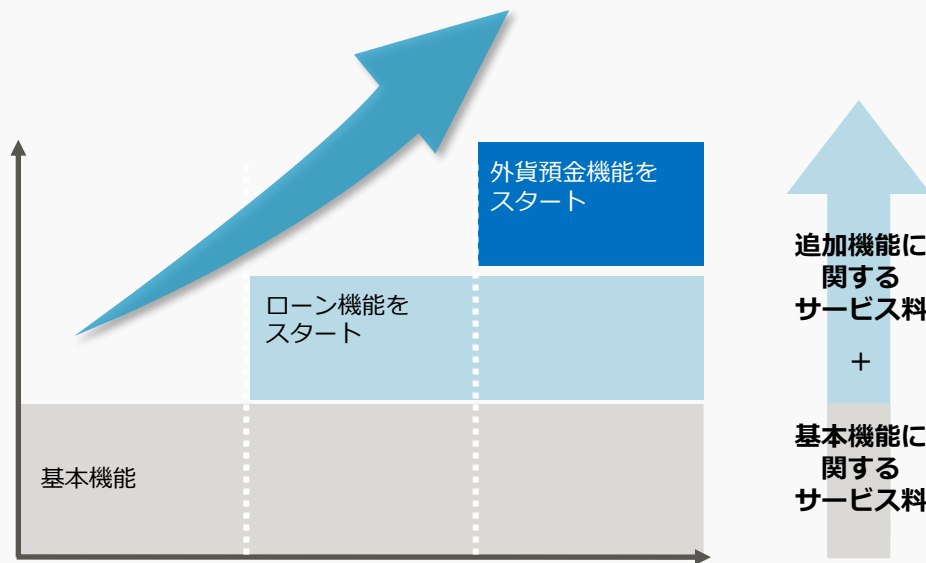
「銀行業務トランザクション」の単位でAPI化する仕掛けを実現



※本資料に記載されている一部の技術に関しては「特許出願済」のものを含みます。

勘定系ソリューション ～特長2 ビジネス戦略への迅速な対応～

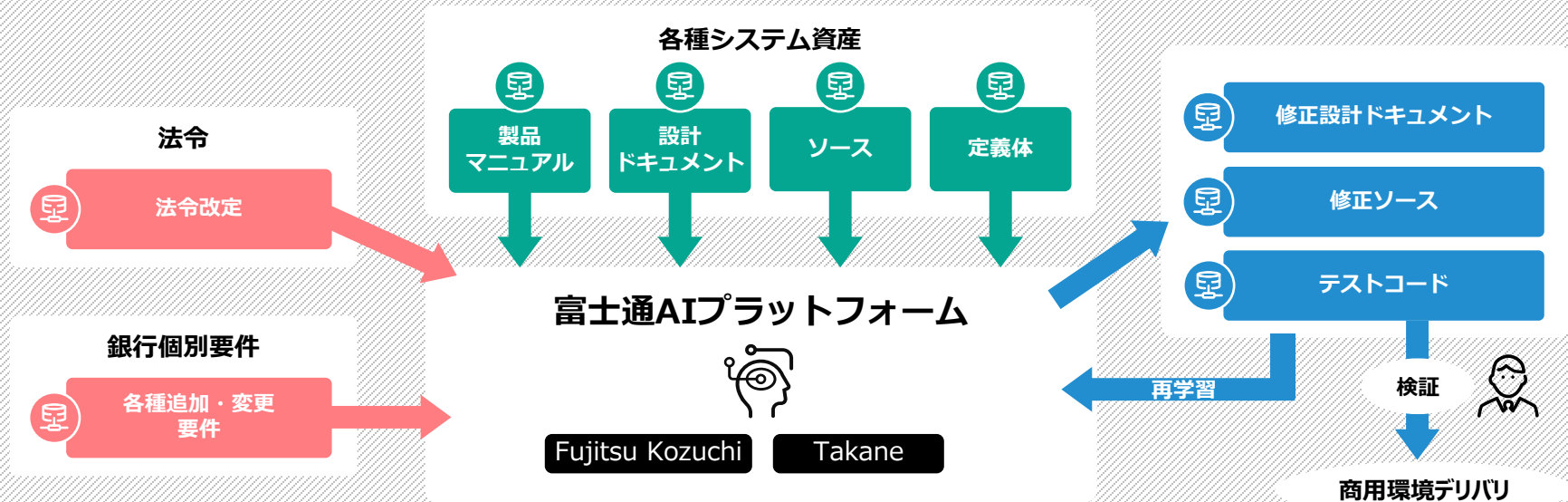
Fujitsu Core Banking xBankでは、業務機能単位ごとにサービスとして独立しており、必要な機能を選択したり、各機能を組み合わせて使用することができます。ビジネス成長に合わせ、サービス拡張にも柔軟に対応でき、ビジネス戦略の迅速な対応を支援します。



勘定系ソリューション ～さらなる進化に向けた挑戦～

AIドリブン開発・保守へのチャレンジ

Fujitsu Core Banking xBankのシステム資産を富士通AIが学習し、金融法令改定対応や各行個別要件対応のアプリケーション保守作業効率化と品質向上の最大化にチャレンジします。



店舗ソリューション 「Digital Branch」

Digital Branchは、金融フロントのサービス化により、顧客に最適なチャネルとシームレスな体験を提供。業務効率化と働き方改革を推進し、店舗を迅速な意思決定拠点へと進化させます。

タッチポイント
あらゆる
デバイスからの接続



最適なサービスを最適なチャネル/最適なタイミングでデリバリー

フロント
コンポーネントをAPI化し
バンキング機能公開
(既存システムからの
段階的な移行可能)



バックエンド
勘定系は無影響

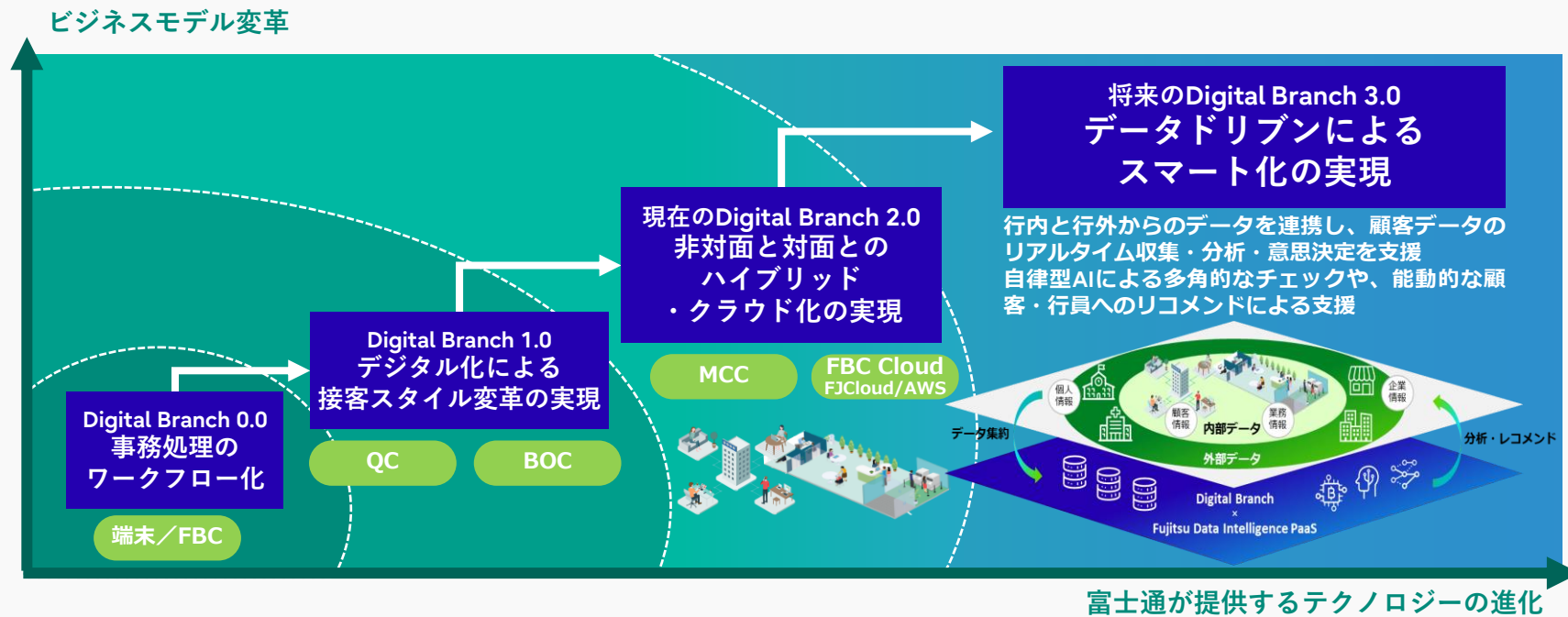
既存勘定系

既存インター
フェース活用

店舗ソリューション ～DX実現に向けた進化～

デジタルチャネルでの操作と現金が必要な手続きを統合的に管理し、非対面・対面のシームレスな連携と業務効率化を実現します。

データ連携を異業種へ拡大し、AIを中心としたコアテクノロジーと柔軟性・拡張性を高めたクラウドを活用して、お客様のビジネスモデルの変革を富士通が共に実現していきます。



店舗ソリューション ～導入実績・導入事例～

FBC 営業店業務改革トータルソリューション

- ◆ 2023年3月に広島銀行様での稼働以降クラウドを活用したサービス利用型の採用が徐々に拡大しております。

FBC導入実績

全国33の金融機関様で稼働中 (2025年3月現在)

クラウド採用行

稼働中



構築中



Digital Branch 導入事例 広島銀行様 僚店サポート

PRESS RELEASE

2023年9月26日
富士通株式会社

広島銀行様に、営業店業務の平準化を図る仕組み「僚店サポート」を導入

金融機関様向けデジタルソリューション「Digital Branch」の活用により銀行全体で事務効率化を実現

当社は、株式会社広島銀行^(注1)（以下、広島銀行）様の営業店業務をペーパーレスにて人の移動なく、事務集中部門や他店舗を含めた銀行全体で支援し、業務の平準化を図る仕組みである「僚店サポート」を導入し、広島銀行様に、2023年9月より運用が開始されました。

本仕組みは、当社の金融機関様向けデジタルチャネルソリューション「Digital Branch」の後方事務集中化ソリューション「BackOffice Connector」を用いて実現し、各営業店・本部で受け付けた帳票を事務集中部門や他店舗へイメージデータで作業依頼するものです。

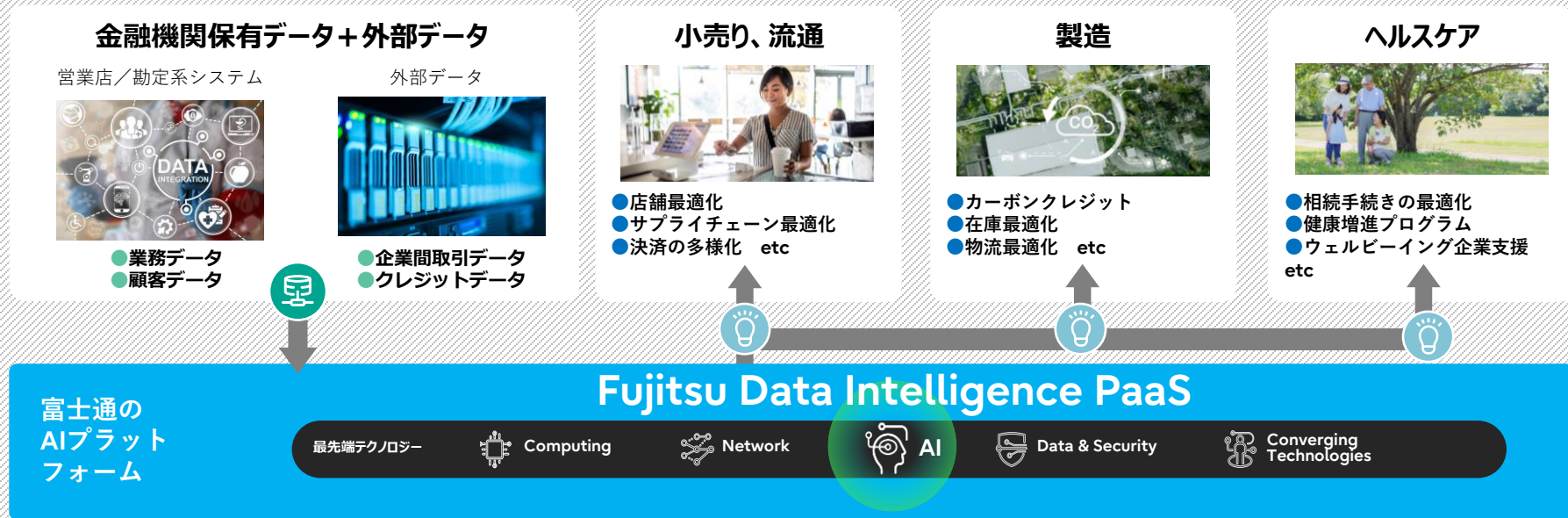
広島銀行様では、営業店業務のデジタル化を推進しており、2023年3月には従来オンプレミス型で提供していた営業店システムの基盤を、当社のクラウド型営業店システム「FBC Cloud Service」により、クラウドシステムへ移行しました。クラウド化により、システム運用コストを削減するとともに拡張性と柔軟性を確保し、他サービスとの連携やお客様の利便性向上につなげています。

出展： <https://pr.fujitsu.com/jp/news/2023/09/26-2.html>

スマートソサエティを支えるプラットフォーム

～金融サービスの未来を切り拓く～

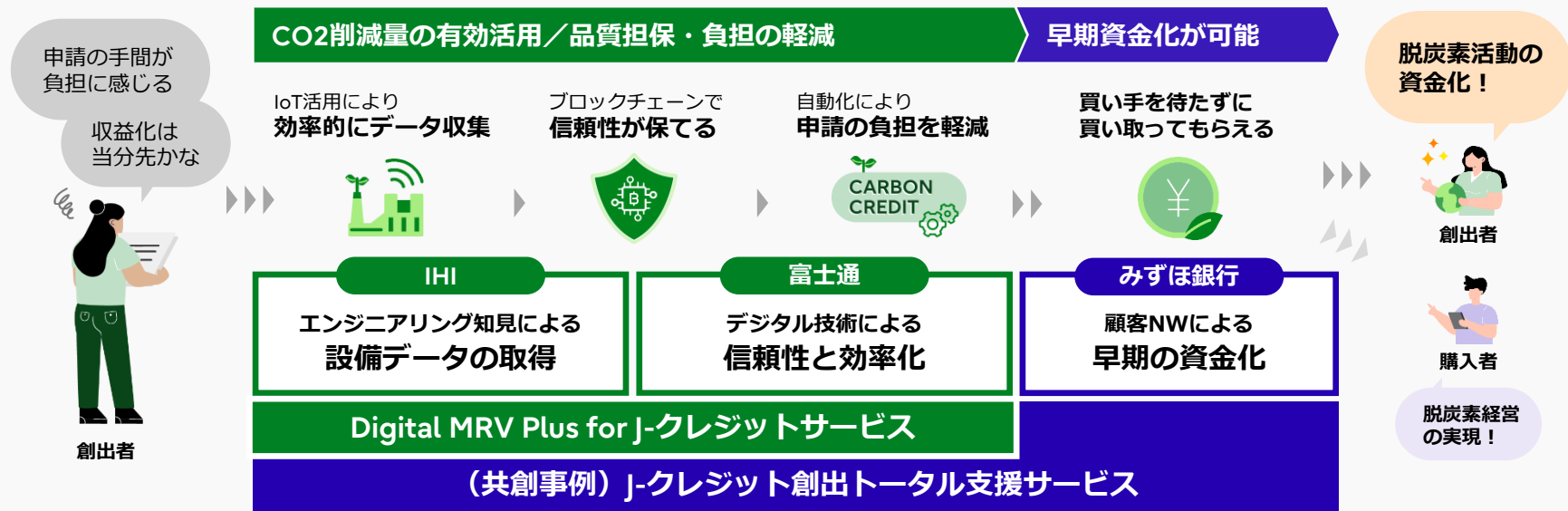
高度なAI技術でデータを分析/予測。顧客ニーズに最適化された金融サービスを創出し、市場変化への的確な対応とリスクを抑えた安定的な成長戦略策定を支援します。



取り組み事例：J-クレジット創出トータル支援サービス

～Digital MRV Plus for J-クレジットサービス～

IHIと富士通とみずほ銀行の3社でJ-クレジットの自己調達や創出から資金化までのサービスをご提供。J-クレジットの創出支援を通して、脱炭素社会の実現に貢献。

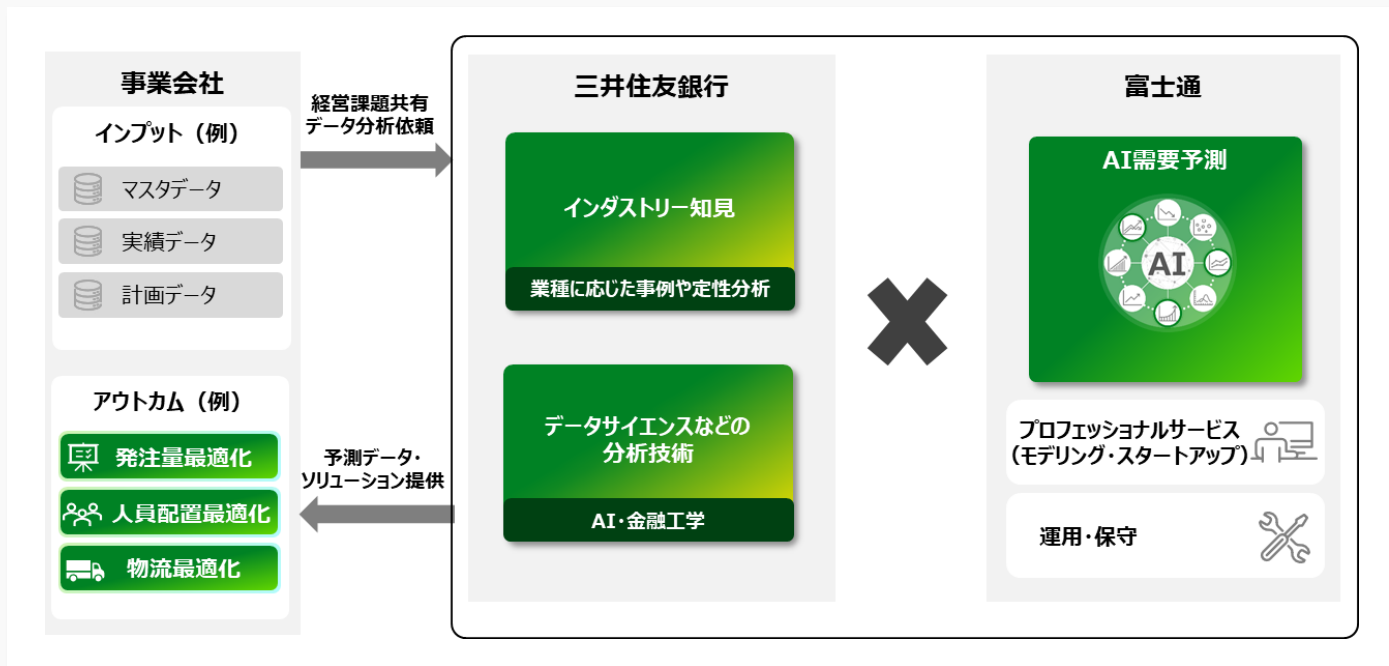


出典：<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2024/09/18.html>

取り組み事例：三井住友銀行様とのAI・データビジネス共創の基本合意

～AIを活用したデータ分析ビジネス共創～

三井住友銀行が持つ業界知見やデータサイエンスなどの分析ノウハウに、富士通のAI需要予測を組み合わせたサービスを提供していく予定



社会課題を起点として、クロスインダストリーで
お客様の成長に貢献するデジタルサービスを提供

サステナブルな世界を 実現する7 Key Focus Areas

Vertical Areas

社会課題を解決する
クロスインダストリーの4分野



Sustainable
Manufacturing



Consumer
Experience



Healthy
Living



Trusted
Society

Horizontal Areas

クロスインダストリーを支える
3つのテクノロジー基盤



Digital Shifts



Business
Applications



Hybrid IT

Key Technologies



Computing



Network



AI



Data &
Security



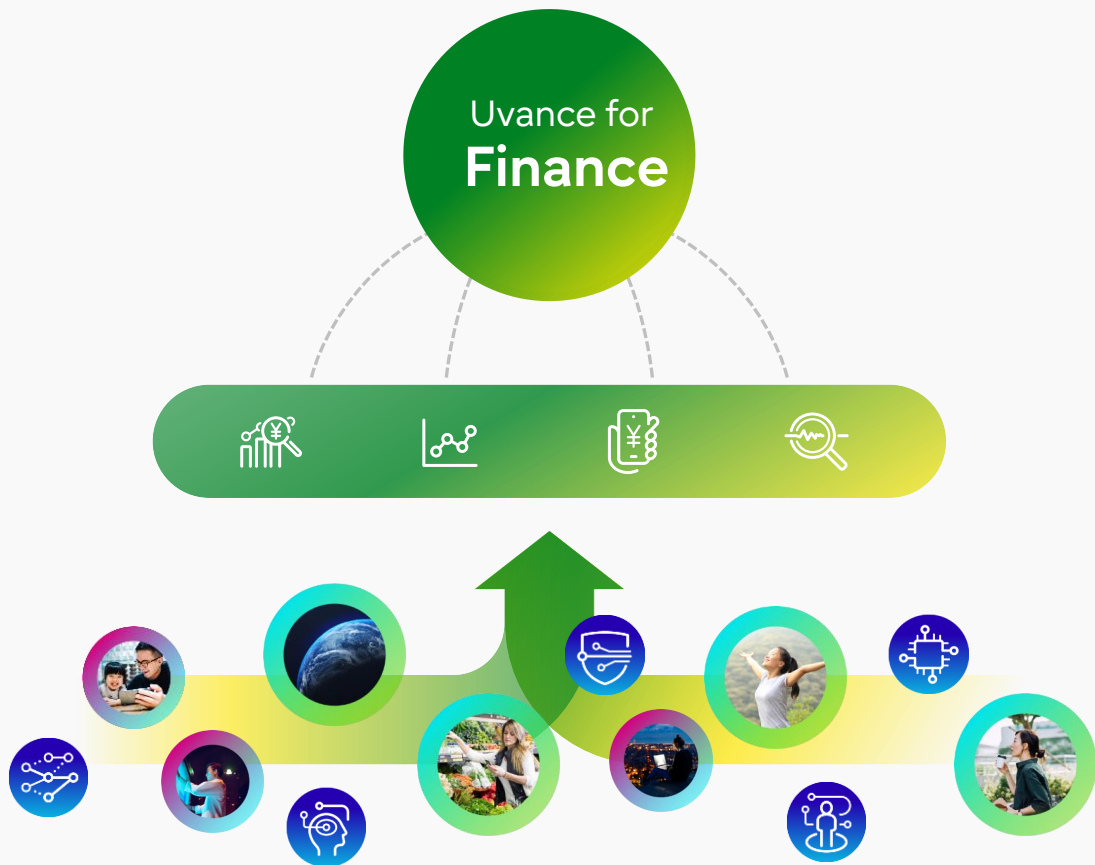
Converging
Technologies

Uvance for Finance

人々のより良い暮らしを支える金融の未来を目指し、長年の金融ビジネスで培った知見と、「Fujitsu Uvance」の先進的なオファリング、そしてAIなどの最新テクノロジーを結集し Uvance for Finance を提供します。

**Realize Next-Level Finance,
Advance Societal Well-being.**

金融業務の高度化を具現化し、より豊かな社会の実現を前進させる



Uvance for Finance

組込型金融
ソリューション



AWS

Data Intelligence
PaaS



保険業界向け基幹業務
ソリューション

Cloud for
Insurance



SAP

オンライン接客
サービス



レンディング
ソリューション



デジタル銀行向け
勘定系ソリューション

Fujitsu Core Banking
xBank



Sales
force

信用スコアリング/データ分析
ソリューション

FICO



次世代営業店
ソリューション

Digital
Branch



Service
eNow

チームビルディング
ソリューション



相続支援
ソリューション



Azure

CHORDSHIP



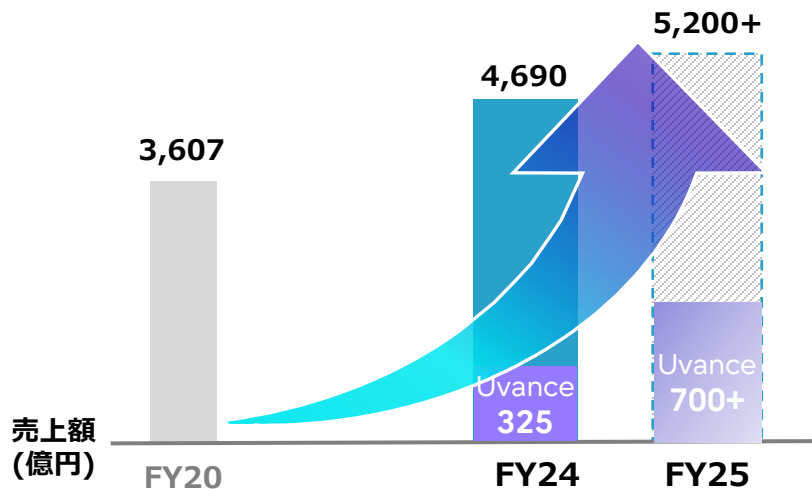
Fujitsu Kozuchi
/ Takane



金融ビジネスの拡大に向けて

従来型の店舗を持つ銀行から、デジタル化を積極的に進める銀行まで、多様なビジネスモデルに対応できるソリューションをご提供することでシェア拡大と金融業種ナレッジを深化させ、メガバンク、地域金融機関を含めた金融ビジネスの拡大を図ります。

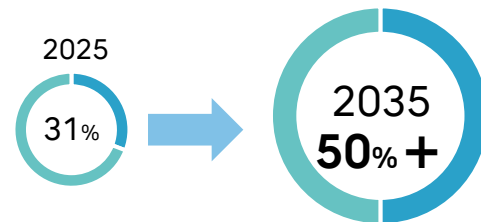
金融ビジネスの売上収益



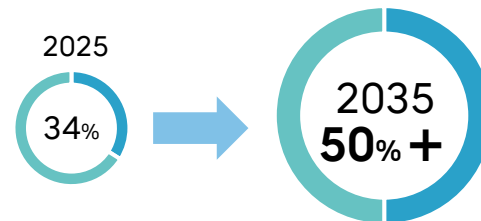
2035年のマーケットシェア目標 ～10年先を見据え、進化します～



ネットバンク
勘定系システム
シェア



営業店
システム
シェア



ATMおよび営業店専用ハードウェアの継続的な提供について

- ・ 当社製ATMおよび営業店専用ハードウェアの提供を2028年3月末に終了（※）
- ・ 沖電気工業株式会社とは、ATM・営業店専用ハードウェアの調達に関する基本合意を締結

これまで



これから



富士通から直接販売する場合の一例

※保守サポートは各契約の期間満了をもって順次終了しますが
最終の保守サポート期限は2036年3月末となります。

